



稲築東小学校だより

令和元年6月3日

校長 平田 賢一郎

# 学びの丘

## 自尊感情について

今の教育は、「生きる力」を育成することに重点を置いて教育活動を行っています。「生きる力」の中でも、特に最近よく耳にするのが「学ぶ意欲」や「自尊感情」、「他者と協働する力」の育成です。

6月号は、「自尊感情」について述べていきたいと思えます。

「自尊感情」とは、自分に自信を持ち、物事に主体的に、積極的に取り組む原動力になるものだと考えます。したがって、自尊感情の高い子は学力も社会力も高いという研究結果も報告されています。

最近、子どもたちの自尊感情が低下してきたと言われますが、その要因は、大きく2つあると考えます。



【刈った草を運ぶ1年生】

### 1つ目は、子ども達の体験不足です。

特に、額に汗をして働く等生産する体験や、家庭・地域で役割を果たす体験、人や社会に貢献する体験などの不足は、子どもが誉められたり、感謝されたり、頼りにされたりする経験の減少につながっています。

### 2つ目は、大人の接し方が考えられます。

大人が子どもと接するとき、よい面を誉めるのではなく、他者と比較して悪い面ばかりを指摘する傾向が強いことです。そのため、子どもは自分のマイナス面を強く意識するようになり「自分はダメだ」と考えるようになるのです。

そこで、本校では自尊感情を高めるため、次の2点について取り組みたいと考えています。

## 1 自分の役割を果たす体験と、それを認める言葉かけの推進

自尊感情を高めるためには、一人ひとりに自分のよさを自覚させ、そのよさを発揮できる場を設定することが必要です。そして、やり遂げる体験を重ねさせるのです。その際、努力し続けることの大切さを、体験を通して指導するとともに、子どもの活動を認めたり、感謝したりする言葉を伝えることです。そうすることで、子どもは「自分は役に立っている」「必要とされている」と実感するようになります。

右の写真は、先日行われた慰霊碑清掃の際、慰霊碑磨きを任された児童の様子です。納得いくまで作業を続けています。このような積み上げが「自分はやればできる」「自分もなかなかなんだ」という自信や自己受容（自分を好きになること）へとつながっていくのだと考えます。



【慰霊碑を磨く6年生】

## 2 子どもを認め、誉める機会の確保



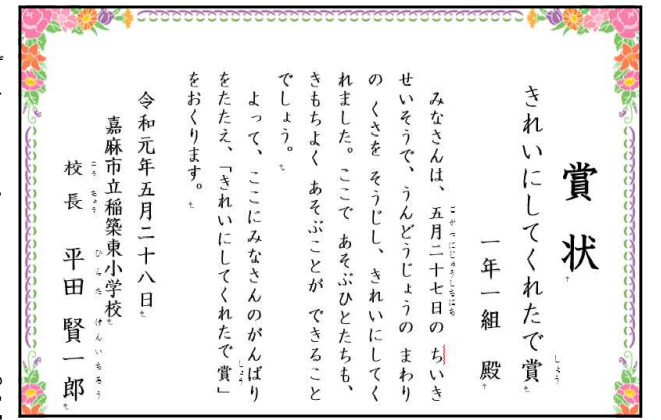
子どもは、本来、誉められることを求めています。人間には「生理的な欲求」があるように「承認の欲求」もあるからです。小学校1年生の子などは、「先生、見て、見て、聞いて、聞いて」とストレートに評価を求めてきます。高学年へと成長しても評価してもらいたいという欲求は変わりません。このように評価を求めている子どもたちに応え、よさを伝えるために各学級・学校では、意識的に子どものよさを誉め、そのよさを意味づけする取組や、帰りの会での誉める機会の確保を行っています。

### 【表彰を受ける1年1組】

に評価を求めている子どもたちに応え、よさを伝えるために各学級・学校では、意識的に子どものよさを誉め、そのよさを意味づけする取組や、帰りの会での誉める機会の確保を行っています。

上の写真は、校区内清掃の頑張りをたたえるために、校長が学級を巡回表彰をしている様子です。このように賞状を通して誉められた子どもたちの中には、自主的に登校の時に地域のゴミを拾ってくる子も現れています。

### 全ての子どもが自分に自信を持ち、自主的に考え、正しく判断し行動できる人間になることを願っています。



# 6月行事

4	火	内科検診(3年・6年) 委員会活動⑥ 嘉穂特別支援学校との交流・共同学習(2年)
5	水	水泳学習 PTA安全委員会(危険箇所巡回)
6	木	耳鼻科検診(1・2・3年) にゃ〜ごさん読み聞かせ(1.2年)
7	金	内科検診(2年・4年)
11	火	内科検診(1年・5年) 代表委員会⑥
12	水	水泳学習 コアトレーニング(3年)
13	木	給食試食会・PTA親子活動(1年) にゃ〜ごさん読み聞かせ(5、6年)
14	金	4年社会科見学
17	月	体カテスト PTAバレーボール練習19:30~
18	火	県学カテスト(5年) 体カテスト クラブ活動⑥
19	水	水泳学習 嘉穂特別支援学校との交流・共同学習(4年) PTAバレーボール練習19:30~
21	金	平和歌声集会②③ PTAバレーボール練習19:00~
23	日	市PTA連合会スポーツ交流会
24	月	体カテスト
25	火	交通安全教室(1・4年) 嘉穂特別支援学校との交流・共同学習(6年)
26	水	水泳学習 メディア学習(6年)
27	木	耳鼻科検診(4・5・6年)
28	金	いじめアンケート PTA親子活動(3年)